

(8枚)

様式8-1 (1/4)

## 異常事態連絡様式（第2報以降）（原子炉施設）

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年 4月 18日 (第213報)  
発信時刻 9時30分

経済産業大臣、福島県知事、楢葉町長、富岡町長、歴

通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏  
連絡先 0240-25-4111(代) ( )

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所	東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分：電気事業) 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浪作12	
特定事象の発生箇所	福島第二原子力発電所 第一号炉	
特定事象の発生時刻	平成 23年 3月 14日 21時58分 15日 0時00分	
要發生した特定事象の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 地域境界放射線量上昇 <input type="checkbox"/> 原子力緊急事態に該当(口する, ■しない)	
想定される原因	<input checked="" type="checkbox"/> 特定 福島第一原子力発電所の影響 <input type="checkbox"/> 調査中	
検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	別紙を参照	
	被ばく者の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有：被ばく者 名 要救助者 名	被ばく者の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有：
	汚染拡大の有無 (確認時刻 9時00分)	汚染拡大の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有：
	気象情報 (確認時刻 9時00分)	天候 晴れ 風向 北東 風速 m/s 2.9 大気安定度 B (10m)
その他特定事象の把握に参考となる情報	周辺環境への影響 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有：“”	調査中
	応急措置	

様式8-1 (2/4)

1号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(4月9時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り, □無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	□放出, □停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (逃上高 m) □放出, □停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(4月9時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	→ 0.05 (kg/cm <sup>2</sup> [MPa[gage]]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	25.0 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	→ 5100 mm (液面) 燃料頂部から 9296 mm →
外部電源	受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 無
余熱除去系の機能維持	正常(異常)
ECCS の作動・高圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
ECCS の作動・低圧系	作動(未作動)
全ての制御棒挿入	挿入(未挿入)
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔壁弁の閉止	閉(開)
格納容器の隔壁状態	隔壁(非隔壁)
格納容器圧力	→ 2.3 (kg/cm <sup>2</sup> [kPa[gage]])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他特記事項	冷温停止中 サブレッショングール水温度 24 °C → R.H.R. (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1 (2/4)

2号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(1/8日 9時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD / MTU
放射性物質の放出の有無	□有り □無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	□放出、□停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) □放出、□停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(1/8日 9時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.03 (kg/cm <sup>2</sup> : MPa[gage]) ↑ 上昇・下降 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">安定</span> 制御中
1次冷却系の液度(ホットレグ) →	24.8 ℃ 給水ノズル温度
原子炉水位 →	6100 mm SHL (玄関前) 燃料頂部から 10296 mm →
外部電源	受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 無
余熱除去系の機能維持	正常・異常
ECCSの作動・高压系	作動 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">未作動</span> 作動後手動停止
ECCSの作動・低压系	作動 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">未作動</span> 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	挿入 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">未挿入</span>
ボロン添加	添加 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">未添加</span>
主蒸気隔離弁の閉止	閉 閉
格納容器の隔離状態	隔離・非隔離
格納容器圧力 →	3.8 (kg/cm <sup>2</sup> : kPa[gage])
格納容器スプレイ作動	作動 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">未作動</span>
その他の待機事項	冷温停止中 サプレッショングール水温度 24 ℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1 (2/4)

3号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(18日 9時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD / MTU
放射性物質の放出の有無	□有り □無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	□放出, □停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) □放出, □停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(18日 9時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.00 (kg/cm <sup>2</sup> ・MPa [gage]) ↑ 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	34.1 °C 給水ノズル温度 RHR Hx(B) 入口温度
原子炉水位	3000 mm (底盤) 燃料頂部から 2196 mm →
外部電源	受電有無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有無
余熱除去系の機能維持	正常・異常
ECCS の作動・高圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
BCCS の作動・低圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	挿入(未挿入)
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	閉開
格納容器の隔離状態	隔離・非隔離
格納容器圧力	9.94 (kg/cm <sup>2</sup> ・kPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サブレッショングール水温度 26 °C → R.H.R (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

## 様式8-1 (2/4)

4号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(4/18日 9時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り, □無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	□放出, □停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) □放出, □停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(4/18日 9時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.07 (kg/cm <sup>2</sup> MPa [gage]) 上昇・下降 安定 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) →	28.8 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	47.50 mm (燃料棒) 燃料頂部から 8946 mm →
外部電源	受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 無
余熱除去系の機能維持	正常 正常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	挿入(未挿入) CR:10-19 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	閉 閉
格納容器の隔離状態	隔離(非隔離)
格納容器圧力 →	6 (kg/cm <sup>2</sup> MPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッショングブル水温度 29 °C → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報を得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式B-1(8/4)

## 【放射性物質及び放射線に関するデータ】

## 1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(18日 9時 00分)
評価時刻での放出量(放出率)	
希ガス(Bq/h)	
ヨウ素(Bq/h)	
総量(Bq/h)	
評価時刻での放出量(濃度)	
希ガス(Bq/cm <sup>3</sup> )	
ヨウ素(Bq/cm <sup>3</sup> )	
総量(Bq/cm <sup>3</sup> )	
評価時刻までの放出量	
希ガス(Bq)	
ヨウ素(Bq)	
総量(Bq)	
放出維続時間(h)	
放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測)	
希ガス(Bq)	
ヨウ素(Bq)	
総量(Bq)	
放出維続時間(h)	

## 2. 予測線量

種類	評価時刻(18日 9時 00分)			
	日 時 分	日 時 分	日 時 分	日 時 分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

## 様式B-1(4/4)

## 3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

評価時刻(18日 8時 30分)

項目	評価時刻(18日 8時 30分)							
排気筒モニタ								
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機	4.0 cps	2号機	3.9 cps				
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機	3.9 cps	4号機	4.9 cps				
	Rw/B:	2.7 cps						

固定式モニタリング設備地点	設備地点名							
	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*	
8時 10分	2.7 $\mu\text{Sv/h}$	2.0 $\mu\text{Sv/h}$	2.8 $\mu\text{Sv/h}$	2.3 $\mu\text{Sv/h}$	2.3 $\mu\text{Sv/h}$	2.3 $\mu\text{Sv/h}$	2.3 $\mu\text{Sv/h}$	
8時 20分	2.7 $\mu\text{Sv/h}$	2.0 $\mu\text{Sv/h}$	2.8 $\mu\text{Sv/h}$	2.3 $\mu\text{Sv/h}$	2.3 $\mu\text{Sv/h}$	2.3 $\mu\text{Sv/h}$	2.3 $\mu\text{Sv/h}$	
8時 30分	2.7 $\mu\text{Sv/h}$	2.0 $\mu\text{Sv/h}$	2.8 $\mu\text{Sv/h}$	2.3 $\mu\text{Sv/h}$	2.3 $\mu\text{Sv/h}$	2.3 $\mu\text{Sv/h}$	2.3 $\mu\text{Sv/h}$	
時 分	$\mu\text{Sv/h}$							
時 分	$\mu\text{Sv/h}$							

可動地点	設備地点名							
	時 分	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	
γ線空間線量率	時 分	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	
中性子線 空間線量率	時 分	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	
ヨウ素濃度	時 分	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	
設備地点名								
	時 分	$\text{Bq/cm}^3$	$\text{Bq/cm}^3$	$\text{Bq/cm}^3$	$\text{Bq/cm}^3$	$\text{Bq/cm}^3$	$\text{Bq/cm}^3$	
	時 分	$\text{Bq/cm}^3$	$\text{Bq/cm}^3$	$\text{Bq/cm}^3$	$\text{Bq/cm}^3$	$\text{Bq/cm}^3$	$\text{Bq/cm}^3$	
	時 分	$\text{Bq/cm}^3$	$\text{Bq/cm}^3$	$\text{Bq/cm}^3$	$\text{Bq/cm}^3$	$\text{Bq/cm}^3$	$\text{Bq/cm}^3$	
	時 分	$\text{Bq/cm}^3$	$\text{Bq/cm}^3$	$\text{Bq/cm}^3$	$\text{Bq/cm}^3$	$\text{Bq/cm}^3$	$\text{Bq/cm}^3$	
その他測定項目								
項目	設備地点名							
	時 分							
	時 分							
	時 分							
	時 分							

\*上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

\*データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

\*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可動型モニタリングポストを設置し、

γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回9時00分の測定値を記載。

## 様式8-1(4/4)

## 3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。  
 注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

評価時刻(18日 9時 00分)

項目	評価時刻(18日 9時 00分)						
排気筒モニタ							
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機	4.2' cps	2号機	4.0' cps			
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機	4.2' cps	4号機	5.2' cps			
	Rw/B	2.7' cps					

設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
8時40分	2.7' $\mu\text{Sv}/\text{h}$	2.0' $\mu\text{Sv}/\text{h}$	2.9' $\mu\text{Sv}/\text{h}$	2.3' $\mu\text{Sv}/\text{h}$	2.3' $\mu\text{Sv}/\text{h}$	2.3' $\mu\text{Sv}/\text{h}$	-
8時50分	2.7' $\mu\text{Sv}/\text{h}$	2.0' $\mu\text{Sv}/\text{h}$	2.9' $\mu\text{Sv}/\text{h}$	2.3' $\mu\text{Sv}/\text{h}$	2.3' $\mu\text{Sv}/\text{h}$	2.3' $\mu\text{Sv}/\text{h}$	-
9時00分	2.7' $\mu\text{Sv}/\text{h}$	2.0' $\mu\text{Sv}/\text{h}$	2.9' $\mu\text{Sv}/\text{h}$	2.3' $\mu\text{Sv}/\text{h}$	2.3' $\mu\text{Sv}/\text{h}$	2.3' $\mu\text{Sv}/\text{h}$	1.7' $\mu\text{Sv}/\text{h}$
時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$						
時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$						

可動地点	設備地点名						
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
γ線空間線量率	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
中性子線 空間線量率	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
ヨウ素濃度	時 分	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$
その他測定項目	時 分	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$
項目	時 分						
	時 分						
	時 分						
	時 分						
	時 分						

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

※MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、

γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回9時00分の測定値を記載。